

平成24年度富里市地域公共交通会議（第4回）会議録

日 時	平成24年1月24日（木） 午前10時～	場 所	富里市役所本庁舎 3階3会議室
出席委員	石橋規委員，飯高貞夫委員，伊藤隆史委員，丹さく子委員，今村泰弘委員（山崎一也氏代理出席），鵜澤尚夫委員，池田和弘委員（池田絵里子氏代理出席） 篠崎秀樹委員（森健氏代理出席），中野善敦委員，高田敏秋委員		
欠席委員	寒郡茂樹委員，高中正明委員，長谷川英利委員，佐々木努委員		
事 務 局	林田総務部長， 総務部企画課：中川課長，相川副主幹，篠原主査補，池田主査補		
内 容	1. 開会 2. あいさつ 3. 議題 （1）富里市支線交通実証運行実施計画について（資料1）【事務局説明】 「質疑・意見」 【委員】 これはいつから行うのか。 【事務局】 H25年4月1日を予定している。 【委員】 現在走行しているさとバスの運行はそのまま走行させるのか。 【事務局】 3月31日までは現状のまま運行し、4月1日から切り替えをする。 【委員】 市内の小学校、中学校の前は全て走行するのか。 【事務局】 市内には小学校が8校、中学校が3校あるが、必ずしも全ての学校の前に昇降ポイントを設けているわけではない。 【会長】 他に意見はあるか。それでは議題（1）については説明のとおり進めることでよろしいか。 【委員】 一同承認		

(2) 地域公共交通会議において協議が調っていることの証明について
(資料 2-1・2-2)【事務局説明】

「質疑・意見」

【委員】

デマンド交通について、成田タクシーが一般乗用事業と車両を併用する計画であれば、証明書にその旨を記載していただきたい。

【委員】

その申請は富里市で出すのか。

【事務局】

この申請はあくまで運行事業者が出すものである。

【委員】

八街駅と酒々井駅には乗り入れをする事になっているが、成田駅に関してはあくまでも乗り継ぎであると位置づけるのか。また、八街駅や酒々井駅を走行しないルートもあるが、そのルートにおいては乗り継ぎをして八街駅や酒々井駅に向かう事になるのか。

【事務局】

市外の鉄道へのアクセスについては、路線バスの運行がないのが前提であり、成田駅へのアクセスは路線バスとの乗り継ぎを行う事になる。

八街駅や酒々井駅を走行しないルートについても、同様に乗り継ぎをして利用して頂きたいと考えている。

【委員】

デマンドについても同じ考えか。

【事務局】

同じである。

【委員】

デマンドの場合、利用者からの事前予約は何日ほど前からすればよいのか。
また、一人でも予約できるのか。

【事務局】

事前予約をするには予め登録をしていただく必要があり、利用する7日前から当日の1時間前までの予約が可能である。

利用直前の予約は、ダイヤを組んでいる関係で難しい。

また、1人での予約は可能である。

デマンドはタクシー車両を利用し、3名までの乗合いになる。よって、4名以上の予約の場合は増車をして対応していただく事になる。

【委員】

今回変更するにあたり、利用者をより増やしたいという事もあるが、どのような方法で富里市民に周知を図るのか。

【事務局】

住民へのお知らせは、2月15日号の富里市広報において、現行のさとバスがこのようなシステムに変化するという概要を記載する予定である。

また、デマンドのルールや利用方法、そしてダイヤの設定なども含め、より詳しい説明をパンフレット形式にしたものを、3月1日付けの広報紙に折り込む予定である。

その他にHPでの紹介や区長回覧などを手法として考えている。

【委員】

新聞折り込みを利用する方法だが、中には新聞を取っていない家庭もあるため、それだけでは足りないのではないだろうか。

【事務局】

新聞折り込みでは、やはり新聞を取っていない家庭もあるだろうと想定している。だが、やはり新聞折り込みや区長方への回覧のお願いなどの方法にて周知を図りたいと考えている。チラシ等については、公共施設はもとより、集会場などの様々な場所に多めに置き、自由に持ち帰って頂くようにする。また、さとバスやタクシーの各車両にもパンフレットを置いていただき、多くの乗客が手に取れるような手法も考えている。

【委員】

証明書にデマンドの車両数の記載が無いが、先ほどの説明には1車両あたり3人までの乗合いになり、4人以上は増車して対応するようであるが、その場合最大何両までを考えているのか。

【事務局】

今後の利用者数によって使用車両数も増加すると思われるが、現時点では7車両を予定している。

それは利用が重なった場合や乗り溢れなどに対応する予備車両も含めての7台である。

【委員】

その内容も証明書に盛り込んで記載していただきたい。

【委員】

デマンド交通の営業区域は、富里市全域及び八街市一部と記載されている。しかし現在のデマンド交通は根木名、十倉、高松の3ルートであり走行しない箇所もある。よって、なぜ富里市全域という記載になっているのだろうか。

【事務局】

区域については、デマンドのルートは3ルートあり、確かに絞られたエリア設定になっている。

しかし最終利用者が乗車した後の運行ルートについては、交通事情も考慮し決まったルート以外の箇所も運行してもよい設定をしている。

よって、厳密に言えば目的地以外の箇所も通過する可能性もある。また、富里市をこの3ルートでエリアを完全に分ける事はなかなか難しい事であるため、区域については全域を設定している。

【会長】

他に意見はあるか。それでは議題（２）については本会議で協議が調ったこととしてよろしいか。

【委員】

一同承認

4. その他

今後は４月からの運行開始に向け準備を進め、運行開始後に市民アンケートを実施する予定である。

なお、次回の会議は運行開始後のアンケート実施前（７～８月）を予定する。

5. 閉会

以上